

令和6年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会専門部会活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和6年度 相談支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆ 相談支援体制の課題への取組の検討
- ◆ 他分野との連携の強化に向けての取組の検討
- ◆ 災害対策の取組の活用

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
第1回	5月28日(火)	<報告事項> ①～⑤は毎回共通項目 ① 相談支援事業所連絡会の実施報告 ② 障害児通所支援事業所連絡会の実施報告 ③ 相談支援体制プロジェクトチームの実施報告 ④ 地域体制強化協働支援の実施報告 ⑤ 重層的支援体制整備事業の実施報告 ・主任相談支援専門員連絡会の発足について ・協働型機能強化相談支援体制プロジェクトチームの取組 <協議事項> ・相談支援体制の充実・強化について ・災害対策について	年3回開催
第2回	9月17日(火)	<報告事項> 共通項目①～⑤ ・協働型機能強化相談支援体制プロジェクトチームの取組 <協議事項> ① 意思決定支援について ② 都外施設を含む施設入所者の地域移行について	
第3回	2月12日(水)	<報告事項> 共通項目①～⑤ <協議事項> 共通項目①～②	
相談支援事業所連絡会	4月18日(木) 6月19日(水) 7月18日(木) 12月19日(木) 3月21日(金)	<協議事項・情報共有等> ・相談支援体制整備のための方策(新規計画相談依頼への対応フロー、各プロジェクトチームの取組等) ・防災まとめサイトの活用 ・主任相談支援専門員連絡会の発足について ・相談支援に関する知識、技術のブラッシュアップ ・相談支援事業所間の連携、情報共有について ・新規の計画相談の対応について ・障害福祉サービスから介護保険への手続きについて ・都外施設を含む施設入所者への地域移行に関するニーズ調査について ・各研修の内容について	毎月開催

	5月16日(木) 8月29日(木) 9月19日(木) 10月17日(木) 11月21日(木) 1月17日(金) 2月20日(木)	<研修等> ・国分寺市社会福祉協議会の事業について ・報酬改定及び支給決定基準等について ・サービス等利用計画の書き方について ・相談支援専門員の役割についてグループワーク ・子育て相談室について、ヤングケアラーへの支援について ・事例勉強会(野中式事例検討) ・根岸病院と合同事例勉強会 ・障害児に関する計画相談について	
障害児通所支援事業所連絡会	7月11日(火)	・報酬改定に伴う影響について ・欠席枠について(欠席が多い方への対応、欠席枠の補い方など) ・利用者の年齢層のバランスについて ・災害、防犯対策について(近隣住民や行政との連携) ・障害児通所支援事業所間の情報共有	年2回開催
	1月29日(水)	・災害協定、災害・防犯対策について ・開所時間の延長について(休日開所、延長支援加算の要件等) ・重心ではない医療的ケア児等の受け入れについて ・つくしんぼの児童発達支援センター移行について	

成果・活動から見えてきたことなど

- ・自立支援協議会で意見があった施設入所(知的障害等)の地域移行については、市が具体的なニーズ把握を行うための調査を行う予定であり、その調査方法や内容について相談支援部会・相談支援事業所連絡会で意見交換を行った。調査を実施するにあたって留意すべき課題として、本人の意思の確認の難しさ、家族が入所を選択した背景への理解、地域の受入体制の整備状況などがあげられた。これらの意見を参考に障害福祉課が調査方法や質問項目を具体的にまとめたものについて、引き続き意見交換を行うこととする。また、地域の支援体制の整備については、相談支援部会で担える課題ではないので、実際にサービスを提供する事業所が課題を共有し、検討していける場が必要であると考えます。
- ・「意思決定支援」については、計画相談に留まらず、それぞれの支援現場で様々な工夫をしながら日々取り組んでいる。非常に範囲が広く、事業所や支援内容によってもアプローチの仕方は違うので、「このやり方がよい」と言うような回答ができるものではないが、各事業所での事例や取組を知ることや、権利擁護などの基本的なスタンスを共有していくことが重要ではないかとの意見が上がった。それらの意見を踏まえながら来年度以降に研修等を企画し、意思決定支援への取組を継続していく。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会 第1回 第2回 第3回	6月3日(水) 9月11日(木) 2月10日(火)	・相談支援体制の課題への取組の検討 ・都外施設を含む施設入所者の地域移行について ・意思決定支援について	
相談支援事業所連絡会	毎月	・各事業所における現状・課題の報告 ・相談支援体制の構築に向けての取組、検討 ・相談支援専門員のスキルアップのための取組 等	
障害児通所支援事業所連絡会	6月30日(月) 1～2月頃	・事業所間の連携・情報共有について ・関係機関との連携について(教育機関、児童から成人への切れ目のない支援体制 等	

令和 6 年度 就労支援部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 障害者の法定雇用率引き上げと支援策の強化（週 10～20 時間未満の特定短時間雇用など）についての情報共有及び意見交換について
- ◆ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク 20 周年イベントの企画について
- ◆ 障害者就労施設の販売機会の拡充について

活動の状況

	日にち	内容	備考
第 1 回	5 月 29 日(水)	① 各作業部会の取組状況報告 ・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク（商業施設での販売会、東京都共同受注） ・就労支援事業所連絡会	
第 2 回	8 月 21 日(水)	②今年度の取組の進捗状況の報告や協議等 ・障害者の法定雇用率引き上げと支援策の強化（週 10～20 時間未満の特定短時間雇用など）についての情報共有及び意見交換について	
第 3 回	1 月 15 日(水)	・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク 20 周年イベントの企画について ・障害者就労施設の販売機会の拡充について	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	毎月 1 回 (原則第 2 木曜日)	※共同受注に関する進捗状況報告等 ※価格表を活用した新規受注の開拓 ※販売会の企画・提案・実施・課題整理 ※20 周年イベントの企画 ※就労支援部会から出される課題について協議等	商業施設での販売会 ①10 月 11～20 日 国分寺マルイ ②11 月 29 日～ 12 月 5 日 セレオ国分寺 ※クラフト品等のワークショップも同時開催 ③2月8～9日 ミーツ国分寺
就労支援事業所連絡会	8 月 13 日(火)	※関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 ※庁内実習や実習先の開拓等の意見交換と情報共有	就労移行支援事業所 4 事業所、就労継続支援 B 型事業所 2 事業所、全 6 事業所が参加。
	11 月 25 日(月)	※勉強会（支援者向け） ・障害者雇用の現状について ・一般就労中の障害福祉サービス利用	

成果・活動から見えてきたことなど

- ◆障害者の法定雇用率引き上げと支援策の強化（週 10～20 時間未満の特定短時間雇用など）についての情報共有及び意見交換については、立川公共職業安定所より変更点や障害者雇用の現況について説明していただき、意見交換を行った。また障害福祉課より、一般企業等に就労している方が、就労系の障害福祉サービス事業所を併用して利用できることが法律上、正式に位置付けられたことの説明があった。今後、併用することで企業に就職できる方が多く出てくるのであれば、市としても積極的に活用していくことが情報共有された。また、必要な方が必要なサービスが受けられ、相談する側が相談しやすくなるよう、制度が変わったことの周知をお願いしたいという意見等が挙がった。
- ◆国分寺障害者施設お仕事ネットワーク 20 周年イベントの企画については、3 月 16 日(日)の開催に向けて、内容や会場、周知方法等について、意見交換を行った。
- ◆障害者就労施設の販売機会の拡充については、様々な販売機会についての情報共有が行われた。事業者側がどのような形なら参加しやすいのか、いかに事業所のハードルを下げられるのか、負担を減らせるのかがポイントになると思う、といった意見等が挙がった。新庁舎での販売会については、販売会の実施自体は概ね了承が得られている為、移転作業が落ち着いた段階で協議の場を持ち、実施方法や販売商品等について、具体的に検討していくこととなった。
- ◆お仕事ネットワークは、今年度より立川市のキッチンさかえという就労継続支援 B 型事業所が加わり、13 の法人事業所によるネットワークとなった。事業所が増えたことによってネットワークとしての受注能力が高まり、東京都の共同受注窓口(地域に仕事の斡旋を行う機関)を通じての受注量と受注額は、昨年度以上となった。販売会やワークショップについては、丸井国分寺店やセレオ国分寺店、ミーツ国分寺店の 3 力所の協力を得て、開催した。
- ◆就労支援事業所連絡会は、就労移行支援事業所に限らず、一般就労を支援する事業所（就労継続支援 B 型）も参加し、各事業所の一般就労に向けた取組状況や課題等の情報共有を行った。支援者または当事者向けの勉強会開催の声があった為、下半期の連絡会にて、障害者雇用の現状や一般就労中の障害福祉サービス利用について、支援者向けの勉強会として開催した。
- ◆地域における実習先の開拓については、国分寺市障害者就労支援センターの運営委員会を通じて、就労支援センターと就労支援事業所が地元商店街のイベント（ぶんじハロウィン）に参加することによって、顔の見える関係性を築きながら、地域への参加、障害者理解の啓発、実習受入先の開拓などに繋がるよう、取組を行った。庁内実習等については年 5 回開催し、参加延べ人数は例年よりも多い 28 名となった。今後も就職希望者のニーズに応じて、障害福祉課などとも協力しながら実習機会について開拓・調整を図る予定。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
就労支援部会	第 1 回 5 月 26 日(月) 第 2・3 回 未定	① 各作業部会の取組状況報告 ② 令和 7 年度の取組について	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	定例会毎月 1 回 原則第 2 木曜日	＊共同受注に関する進捗状況報告等 ＊価格表を活用した新規受注の開拓 ＊販売会の企画・提案・実施・課題整理 ＊就労支援部会から出される課題についての協議等	
就労支援事業所連絡会	不定期 (年 2～3 回程度)	＊関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 ＊庁内実習や実習先の開拓等の協議 ＊支援機関向けまたは当事者向けの勉強会の開催の検討・調整	就労移行支援事業所 4 事業所、就労継続支援 B 型事業所 2 事業所、全 6 事業所の参加。

令和6年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組予定

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う(継続)。
- ①「地域生活支援拠点」における「体験の機会・場」の機能について、地域生活・地域移行支援の一助となるミドルステイの進捗を引き続き把握し、有用性や効果について検討を行う。
 - ②精神障害に関する普及啓発について、対象や方法等を引き続き協議する。また、若年世代への普及啓発について、養護教諭連絡会を皮切りに教育部門における課題をアンケート調査等を実施した上で検討する。
 - ③精神障害当事者からの生活状況やニーズ等のヒアリングを行い、今後の課題を抽出し、施策・制度への反映を模索する。また、ピアサポーター育成を含む、当事者の活躍の場の拡充について検討する。
 - ④地域生活・地域移行を行う中で必要となる「住まい」に対する居住支援の実践について、現状の把握を行う。
 - ⑤地域移行等支援連絡会において作成した「退院(支援)意欲喚起のためのツール」を用いて退院支援の体制構築を進め、精神科病院へのアプローチを重ねつつ、そこにとどまらない普及啓発について検討する。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容
第1回	6月21日(金)	①「地域生活支援拠点」における「体験の機会・場」の機能について ⇒ミドルステイの進捗を共有し、有用性や効果に係る課題等の整理 ②精神障害に関する普及啓発について ⇒養護教諭連絡会の報告と、連携に向けた研修パッケージ作成について。 ③当事者の活躍の場の拡充について ⇒精神科病院におけるピアサポーターの活用を進めていく ④居住支援の実践について ⇒市内で活動している居住支援団体の活動を伺い課題等の整理をしていく
第2回	9月20日(金)	①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」と地域生活支援拠点の連動について ③当事者ヒアリング実施に向けて(当事者の活躍の場の検討を含む) ⇒武蔵野市 NPO 法人ミューより「こころの健康支援事業」の報告を聞く予定となる ④市内の居住支援の実情の把握と課題に向けた検討について ⇒居住支援団体の活動を基に、引き続き、課題検討を行っていく
第3回	2月7日(金)	②今後の精神障害に関する普及啓発活動について ③当事者ヒアリングの実施 ⇒生活状況の把握・要望の聞き取り・ピアサポーター等の活用に関する意見聴取 ⑤地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について ◆次年度に向けての課題・取組について
スキルアップ研修 (地域移行)	7月25日(木)	◆地域移行支援 in 国分寺「居住の場で行われている支援について」
地域移行等支援 連絡会	4月23日(金) 6月4日(火) 7月10日(水) 8月23日(火) 9月5日(木) 10月8日(火) 11月12日(火) 12月13日(金) 1月27日(金) 2月26日(水)	・近隣市精神科病院との連携について ・相談支援事業所連絡会との事例検討コラボ企画について ・退院(支援)意欲喚起動画(第1・2弾)の使用方法について ・個別ケースについて ・ミドルステイ事業の進捗確認 ・市内の小中学校養護教諭連絡会への参加報告 ・市内の居住支援の実態確認に向けて ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)について ・小中学校への普及啓発における研修パッケージ作成について ・地域移行支援対象者の把握について ・近隣市精神科病院の院内ピア研修会に向けた打ち合わせ
病院訪問	6月18日(火) 9月5日(木) 12月13日(金) 院内研修当日	・院内におけるピアサポーターの活用について ⇒院内研修会開催に繋がり実施 ・相談支援事業所連絡会との事例検討コラボ企画について ・市民入院者の個別ケース共有 ・ミドルステイ事業への意見聴取 ・ネットワーク研修Ⅰ(地域移行)の周知

成果・活動から見えてきたことなど（課題整理）

- ◆地域移行等支援連絡会を定期的を開催することにより、近隣市の精神科病院との連携をどのように行っていくか、普及啓発に向けた準備をするにはどうしたらいいか等々を検討することができた。
「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向け、精神障害のある、地域で生活している市民や入院している市民の方が住みやすい街にしていくための仕組みの検討も一年を通して検討した。
- ◆近隣精神科病院との会合も回を重ねるごとに有益な機会となってきた。今年度は、当事者の活躍の場の拡充に向け、病院内で行われていたピアサポーター活動の再開の話をおこなった。「年内に院内研修を行いたい。」と病院側から要望をいただき、ピアサポーターの活用の有効性を伝えるための病院向け研修を要望通りに行うことが出来たのは一つの成果となった。その他、引き続き、入院されている市民の方の動向も共有し、市の障害者計画に沿った地域移行支援の実現をめざしていきたい。
- ◆普及啓発について、近隣市で行われている学生に向けた精神保健福祉の啓発活動を参考に、市内でも小中学校等に向けた活動が行えないか引き続き検討を行っている。依頼が入った際に使用できる、研修パッケージの作成を視野に、今年度は武蔵野市にある、NPO 法人ミューが行っている「市民こころの健康支援事業」のインタビューを行った。実際のプログラムの内容とともに、どのように学校等へ働きかけていけば良いかの活動もうかがえ、学校との連携強化に向けて、実践的な行動の参考となった。
- ◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」において重要な機能を担う地域生活支援拠点の充実に向けて出来たミドルステイの利用が少ない状況がある。それは、対象となる方のイメージが支援者に浸透していないこともあるのではないかと考えている。今後も機会がある際に、その有用性や効果を検証し、安定した地域生活のための支援方法の拡充を見出していく。
- ◆市内の「居住支援」における現状をヒヤリングした中で、改めて、生活の基盤となる「住まい」に対しての支援体制構築に課題があると認識することができた。その解消の一つとして、居住支援協議会の役割が重要となることも聞くことができた。引き続き課題を抽出し、提言していく。

今後の活動予定

- ◆当事者ヒアリングは継続的に実施し、幅広くニーズや課題を把握していきながら地域生活支援拠点や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築につなげていく。かつ、当事者やピアサポーターの活躍の場の拡充について検討していく。
- ◆普及啓発を重要課題と捉え、研修パッケージ作りを行っていく。当事者ヒアリングの機会を使い、今後も普及啓発を先駆的に行っている団体等から話をうかがい、参考にして、国分寺バージョンのツールを作成していく。
- ◆地域移行等支援連絡会を中心に、個別支援ケース検討や「退院意欲喚起のためのツール」作成を行う。また病院との関係づくりと個別支援の好事例づくりの両輪で、地域移行や地域定着支援に必要な体制整備を進めていく。
- ◆8050 問題や、若年層への精神保健福祉の普及啓発についての検討を続け、プライマリケアの重要性について普及啓発するための他領域との交流を進める。

次年度の活動スケジュール

第 1 回	令和 7 年	6 月 13 日(金)	午後	cocobunji プラザセミナールーム
第 2 回	令和 7 年	9 月 12 日(金)	午後	国分寺市役所会議室 309
第 3 回	令和 8 年	2 月 6 日(金)	午後	国分寺市役所会議室 309
その他、地域移行等支援連絡会を定期開催。				